

あつたっくかわら版

第75号



平成29年7月10日発行

高齢者の場合、喉が渇いたと感じる頃にはすでに脱水症状が始まっています。喉が渇かなくても1時間に1回を目安に、コップ1杯程度の水分補給が必要です。一度に大量に飲むと吸収率が悪く食欲不振の原因です◎

《第3回ケアマネサロン》

日時：7月13日（木）14時～16時
場所：熱田区役所6階研修室
内容：入退院時における医療連携について
～実践現場の課題をふまえて～
講師：愛知県介護支援専門員協会理事
磯村 直美 氏

～のだて整形外科リハビリクリニック～

今年6月に熱田区に開業しました。整形外科一般から専門性の高い小児整形外科を中心に、機能回復を手助けするリハビリテーションや療育に対応した補装具の製作などを行っています。よろしくお願ひいたします。
院長 馬淵 昇好先生

今月の行事予定

- ・認知症の家族教室 7月24日（月）13:30～15:30（担当：グループホーム職員）
- ・認知症の家族サロン 7月21日（金）13:30～15:30（後期高齢者医療制度について）
- ・もの忘れ相談医の専門相談 7月28日（金）14:00～15:30（小出内科眼科医院 小出章博先生）
- ・認知症サポーター養成講座 7月14日（金）13:00～14:10
- ・認定調査研修 7月12日（水）14:00～15:00 担当：熱田区役所介護保険係
- ・ミニミニ講座 7月12日（水）15:00～15:30 担当：三菱名古屋病院 山本充先生

※高齢者の詐欺についての情報を別紙にて提供をしています。

特記の書き方のポイント 評価軸 介助 の書き方（共通）

※介助の評価軸は、書き方を整理すると特記が書きやすくなります。

※介助者を主語にすると伝わりやすくなります。

（評価軸 介助の基本的書き方） ①⇒②⇒③の順に簡潔に！

- ①実際の介助はどのようにしているか ②実際の介助は適切かどうか
- ・実際の介助が適切だと判断する場合は、その状態でマークを選択する。
- ・調査員が、実際の介助が不適切だと判断する場合は、その根拠と適切だと考える介助方法を記載し、マークを選択する。
- ③マークに反映されない介助がある場合は、その状況を記載する。

〈軽度者に係る福祉用具貸与費の例外給付について〉

確認申請書の再提出が必要な場合：確認申請書は、居宅介護（介護予防）支援事業所ごとに有効となります。事業所が変わった場合は当該居宅介護（介護予防）支援事業所として新たに確認申請を行う必要があります。※要支援の場合はいきいき支援センター（委託居宅が申請をしても）が介護予防支援事業所となっているので、委託居宅が変更になってもその他の事項に変更がない場合は再提出の必要はありません。（名古屋市介護保険課確認済）※詳細は熱田区いきいき支援センターまたは熱田区役所介護保険係までお問い合わせください。



【発行】熱田区いきいき支援センター：熱田区神宮三丁目1番15号 熱田区役所等複合施設6階 TEL:671-3195 FAX:671-4019
いきいき支援センター分室：熱田区大宝三丁目6-26 シャンホール日比野1階 TEL:682-2522 FAX:682-2505

※『あつたっくかわら版』がフェイスブック・熱田区社会福祉協議会のHPでご覧いただけます。